

SANS FRONTIERES vol.6

はじめに 今年度、生徒会を中心に「絆」をテーマに様々な行事が催されています。ただ、私は行事に限らず日々の生活の中でひとりひとりが“つながり”をつくらうとするささやかな勇気の積み重ねこそを大切にしたいと思います。

現在、我が国では無縁死（行旅死亡人、孤独死）3万2千人、百歳以上の所在不明高齢者350人（NHK調べによる）といった衝撃的な数字が報告されています。子供達が虐待されていても、独居老人が寂しい人生の最後を迎えても隣近所がそれに気づかない（？）あるいは気づかぬふりをする（？）といったつながりを喪失した社会状況は更に深刻化していくのでしょうか。

日本の人口は2004年にピークに達し、その後減少傾向にあるのに対し世帯数は2015年に5060万でそのピークを迎えるといわれています。何故このようなギャップが生じるのでしょうか。それは単身世帯の増加のせいです。殊に高齢者の一人暮らしは今年の466万から5年後には562万に増え、その後も増え続けることが予想されています。また、2030年には単身世帯が全世帯数の40%近くに達する見込みです。こうした数字は高校生諸君にとって全くの他人事ではないはずです。ほんの近未来、自分達が社会の中核を形成していく時期の日本をどうしていくか今から考えておくべきでしょう。

自らが一人暮らしを余儀なくされたとき、「誰にも迷惑をかけたくない」と独り生きることが善なのでしょうか。私は「迷惑じゃない。頼って頼られてそれでいい！」と皆が思える日本の社会づくりこそ必要だと思うのですが・・・。

新入生共同宿泊学習

平成22年5月12日～15日に3泊4日の日程で、新入生の共同宿泊学習が行方市のレイクエコーにて実施されました。国語・数学・英語の集中講義と自主学習で、1日当たり合計約10時間にもおよぶ学習を行いました。中学での学習方法の未熟さを確認し、高校での自分の学習方法等を見直す良い機会となったようです。

茨城県立医療大学出張模擬授業放射線・理学療法・看護学科

平成22年6月28日、茨城県立医療大学の先生方による出張模擬授業が実施されました。放射線技術科学科の阿部慎司先生からは、様々な放射線の種類と技術に関する講義、作業療法学科の村木敏明先生からは、作業療法と理学療法の違いについてとコミュニケーションの重要性に関する講義、看護学科の渡邊尚子先生からは、脈をとるなどの実習を通して、看護で大切なことや、自分を知ることの大切さについての講義を受けました。

仕事の内容や、学ぶべきことを教えていただき、それぞれの仕事の奥深さや医療現場における重要性を知ることができて、生徒達は今まで知らなかった分野についても関心をもつことができました。

昭和大学出張模擬授業薬学部・歯学部

平成22年10月4日、昭和大学歯学部から高橋浩二先生、薬学部から、木内祐二先生においでいただきました。高橋先生からは、「超高齢化社会での歯科医師の新たな役割」として、歯学部では歯の治療だけでなく、摂食・嚥下の機能の改善、言語機能の改善、呼吸機能の改善など多岐に亘るテーマを研究していることを詳しくお話していただきました。木内先生からは「チーム医療の担い手を育てる新時代の大学教育」として、薬学部以外の医学部や歯学部、保健医療学部と連携したカリキュラム、チームで学ぶ病院実習など、大学についての特色を詳しくお話していただきました。生徒達は「歯学部で学習できる内容が詳しくわかった」、「薬学部を選ぶにも大学によってカリキュラムが大きく違うことがわかり、今後の大学選びに活かしたい」と感想を述べていました。また、昭和大学薬学部大学院に所属する本校卒業生の内山直樹氏も同行し、後輩を激励してくれました。



1日HR

平成22年9月24日、医歯薬コース1、2年生の1日HRが行われました。午前中は国立科学博物館、午後は班ごとに、国立科学博物館、国立西洋美術館や上野動物園などを見学しました。2010年は国連が定めた国際生物多様性年に制定されていますが、今回は地球上の生物の多様性についての理解を深めるため、「大哺乳類展」を中心に見学しました。普段見ることの出来ない海に暮らす様々な生物について理解を深め、毎年その中の4～5万種が絶滅していることやシロナガスクジラの大きな骨格標本に生徒達は驚いていました。



文化祭

3学年合同で絆を深めた文化祭。

「葵陵を今一度、洗濯いたし申し候」！！

本年度の文化祭において、医歯薬コースでは各クラスの発表とは別に1年生から3年生の121名全員でモザイクアートを作成しました。作品の上段を3年生、中段を2年生、下段を1年生が担当しました。3年生を中心とし迫力ある作品を作ることができました。今回モザイク画は「龍馬伝」で人気の坂本龍馬がモチーフです。「洗濯」という言葉で日本を改革する意志を示した龍馬。龍馬の精神や行動力を学び、実践していく力を身につけたいという実行委員長の願いが作品に込められています。



一日医師・看護体験

夏季休業中に希望者を対象に、水戸市城南病院主催の「高校生一日医師体験」及び茨城県看護協会主催の「一日看護体験」が行われ、本校医歯薬コースからも1・2年生多数が参加しました。体験に参加した生徒達は、医療の最前線で働く医師や看護師の方々から医療現場のお話を直に伺い、ケア、リハビリや訪問看護の補助を実際に行ったことで、将来医療人として仕事に就きたいという意志をさらに強くしたようです。

私は今回、城南病院で一日看護体験に参加し、スタッフや患者さんの素敵な笑顔が、とても印象的でした。実際に、デイケアのお手伝いをさせていただき、初めはなかなか話しかけることができず緊張しましたが、大変貴重な経験になりました。将来、医療の現場に携わる職業に就いたら、このことを忘れず、活かしたいです。(生徒の感想より)

ボランティア活動

第Ⅰ期平成22年5月22日～5月23日、第Ⅱ期7月25日、県立中央青年の家で行われた、ヤングボランティアセミナーに多数の生徒が参加しました。救急救命講習や、聴覚障害者と手話でコミュニケーションをするなどの活動を通して、「障害を持つ方が実際に困難を感じる点を伺うことができた」(2年女子)「コミュニケーションの難しさを知った」(2年男子)など、貴重な体験をすることができました。

救命講座

平成22年9月17日に3時間の普通救命講習会が行われました。心臓マッサージやAEDなどによる心肺蘇生法を学びました。医歯薬コースや運動部の生徒、教員など多数の人が参加しました。修了者には普通救命講習修了証が交付されます。



サマー・サイエンス・キャンプ

夏季休業中に科学技術振興機構が主催するサイエンスサマーキャンプが実施されました。本校医歯薬コースからは、高い倍率の中で3名が選ばれ、埼玉県

立がんセンター臨床腫瘍研究所等のプログラムに参加しました。高校の授業では行うことができない、専門的な実験やレポート作成を行い、また研究者から直接お話を聞く機会もあり、実り多い経験になったようです。

医学部入試情報

茨城県の医師不足の解消を目的に、「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度」があり、医学部の地域枠入試が実施されます。今年度は以下の通りです。筑波大学7名、東京医科大学5名、東京医科

歯科大学2名、杏林大学1名の計15名。筑波大学・東京医科大学・東京医科歯科大学については、県地域枠の受験方法が推薦入学試験のため、受験生は現役生及び1浪までを対象としています。杏林大学は一般入試で行うため、特に制限はありません。

本校では、医学部推薦入試対策として、小論文添削や面接指導を放課後行っています。10月13日には河合塾松戸校舎長による、模擬面接も実施されました。

高校生の医学セミナー

高校生の医学セミナー「病院見学会」が、平成22年8月

10日に国立病院機構水戸医療センターで、8月21日に水戸済生会病院と茨城県立こども病院でそれぞれ実施され、本校医歯薬コースからは希望者16名が参加しました。普段、患者の視点で見ている大病院を医療人の目線で見学することができたようです。また第一線で活躍する医師とのディスカッション等もあり、現役医師がこの職業を目指した動機や高校時代にどのように勉強していたかなどを直接お聞きすることができ、夢の達成に向けてのよい足掛かりになったようです。

筑波大学医学群医学類オープンキャンパスツアー

平成22年7月29日

に、「筑波大学医学群医学類オープンキャンパスツアー」が実施され、本校医歯薬コースからは18名が参加しました。茨城県医学部進学支援概要の詳しい説明をして頂き、本県の医師確保の現状を知るよい機会になったようです。さらに、模擬授業、救急体験実習、病理解剖標本見学などを、憧れの大学の先生方から直接ご指導頂き、筑波大医学群医学類への入学に向けて、受験で勝ち残るための闘志を新たにしましたようです。

行事予定

10月23、25日	総合学習発表会(2年生の発表)
11月26日	修学旅行(2年生)
12月上旬	医歯薬講演会
12月22日	2学期終業式
12月24日～28日	冬季課外